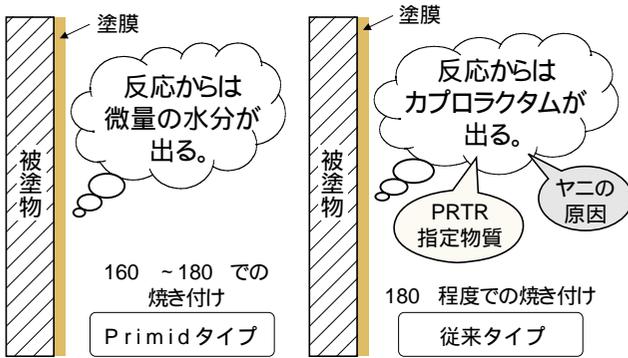


5. 塗膜硬化時のイメージ



(注) どちらの場合も上記以外に、塗料原料に含まれる水分などが出る。

表1 塗料性状と塗装基準

項目	V-PET#6000
展色剤	熱硬化ポリエステル樹脂
顔料	着色顔料、体質顔料
真比重(白の場合)	1.60 ± 0.10
標準焼付条件	160 × 20分
塗装法	静電吹付法
標準使用量	有効利用率 90% 膜厚 60μm
貯蔵期間	30 以下6ヶ月

表2 V-PET#6000 塗膜性能

試験項目	試験結果	試験方法
塗膜の外観	良好	肉眼判定
塗装膜厚	50 ~ 80μm	電磁式膜厚計
光沢(60度)	30 ~ 95	JIS K5600 4.7
鉛筆引っかき値	F ~ H	JIS K5600 5.4
付着性	100/100	JIS K5600 5.6 1mm角碁盤目カット
耐カッピング性	5mm合格	JIS K5600 5.2
耐おもり落下性	40cm合格	JIS K5600 5.3 1/2 500g
耐酸性	異常なし	5%硫酸 20 240時間浸漬
耐アルカリ性	異常なし	5%苛性ソーダ 20 240時間浸漬
耐湿性	異常なし	JIS K5600 7.2 300時間
耐塩水噴霧性	片側剥離幅3mm以内	JIS K5600 7.1 300時間
促進耐候性	光沢保持率60%以上	サンシャインウエザロメーター 300時間
屋外耐候性	光沢保持率60%以上	大日本塗料(株)大阪此花区1年間

試験板：0.8t SPCC リン酸亜鉛化成皮膜処理板

焼付条件：160 × 20分(被塗物温度)

高耐候性が必要な場合は、V-PET#6000SWにて対応